

(別添様式1)

創薬ナビ申込書

受付番号

		申込日	令和 3年 4月 1日	
申請者情報	(フリガナ) 氏名	キコウ ジロウ 機構 次郎	所属・種別	<input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 公的研究機関 <input type="checkbox"/> その他 ()
	機関名	〇〇大学		
	所属・役職	大学院〇〇研究科 准教授		
	郵便番号	〒XXX-XXXX		
	住所	大阪府大阪市 XX 区 XXXX		
	連絡先	TEL : 06-XXX-XXXX FAX : 06-XXX-XXXX E-mail : aaa@aaa.ac.jp		
	共同研究者 氏名、所属	大阪 三郎 △△大学大学院□□研究科 教授		
相談希望場所	<input type="checkbox"/> 東京 (日本橋) <input checked="" type="checkbox"/> 大阪 (梅田)			
相談区分	<input type="checkbox"/> 創薬標的分子の探索・検証 <input checked="" type="checkbox"/> スクリーニング系の確立 (HTS を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 構造最適化 <input type="checkbox"/> 非臨床試験 (薬効薬理、安全性、代謝・薬物動態等) <input type="checkbox"/> CMC (製造、品質等) <input type="checkbox"/> 製剤化 (DDS を含む) <input type="checkbox"/> 知財取得 <input type="checkbox"/> 研究計画 (応用研究) <input type="checkbox"/> コンパニオン診断薬開発 (バイオマーカーの探索)			
相談内容	健常者の血管内皮細胞についてマイクロアレイを用いたトランスクリプトーム解析を行い mRNA の発現を検討した。他の正常組織に比べ血管内皮細胞で高発現が認められた転写物について cDNA 化し、分泌型タンパク質について CHO 細胞を用いリコンビナントタンパク質の発現誘導を行った。複数のリコンビナントタンパク質について VEGF による血管新生を阻害するかを指標にスクリーニングした結果、これまで機能未知であったタンパク質 X を見いだした。リコンビナントタンパク質 X をヒト肝細胞癌細胞株 Huh-7 を皮下移植したヌードマウスに投与したところ、腫瘍増殖の遅延が認められ、タンパク質 X に抗がん活性があることを認めた。また、本タンパクに対するマウスモノクロナル抗体を樹立し、ELISA による当該タンパクの測定系は確立している。タンパク質 X は創薬に結びつく可能性があると考えている。タンパク質 X の製剤化、タンパク質 X に代わる低分子化合物の獲得法を中心に相談にのってもらいたい。			

研究概要 (2枚以内に収めること)

研究課題名	血管内皮細胞に存在する抗がん作用を持った新規血管新生抑制因子
疾患領域	<input checked="" type="checkbox"/> がん <input type="checkbox"/> 難病・希少疾患 <input type="checkbox"/> 肝炎 <input type="checkbox"/> 感染症 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 脳心血管疾患 <input checked="" type="checkbox"/> 精神神経疾患 <input type="checkbox"/> 小児疾患 <input checked="" type="checkbox"/> その他の疾患 (血管新生に起因する疾患：糖尿病性網膜症など)
対象疾患	肝臓癌
創薬標的分子	<input type="checkbox"/> 酵素 (キナーゼ等) <input type="checkbox"/> 受容体 <input type="checkbox"/> 核酸 <input type="checkbox"/> サイトカイン等炎症関連物質 <input checked="" type="checkbox"/> 成長因子 <input type="checkbox"/> 糖鎖 <input type="checkbox"/> 遺伝子 <input type="checkbox"/> その他 ()
医薬品、治療法の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 低分子化合物 <input type="checkbox"/> 天然化合物 <input type="checkbox"/> タンパク質/ペプチド <input checked="" type="checkbox"/> 抗体 <input type="checkbox"/> 核酸 <input type="checkbox"/> ワクチン <input type="checkbox"/> コンパニオン診断薬 <input type="checkbox"/> 遺伝子治療 <input type="checkbox"/> 再生医療 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 未定
現在の到達段階	<input checked="" type="checkbox"/> 創薬標的分子の検証 <input type="checkbox"/> ヒット探索 (HTS、その他) <input type="checkbox"/> リード探索/最適化 <input type="checkbox"/> 非臨床試験 <input type="checkbox"/> その他 ()
研究の背景	がんの増悪に血管新生は不可欠であることから、血管内皮を対象として関連する生理活性を持った物質の探索を目指した。
研究の現状	相談内容に記載した通り、新規タンパクの分離同定及び ELISA による測定系の開発が終了した。
創薬標的分子の検証結果	Huh-7 担癌マウスに投与したところ、増殖遅延効果を認めた。 VEGF に拮抗して血管新生を抑制する効果を認めた。
目指す医薬品の姿 (製剤の種類、治療上の位置付け、治療目標等)	抗がん剤あるいは血管新生を抑制することにより効果が認められる疾患 (糖尿病性網膜症、加齢黄斑変性症など) の第一選択薬 第一選択 ⇒ 低分子化合物 (内服薬) 第二選択 ⇒ タンパク質・ペプチド製剤 (注射剤)
新規性/優位性	新規生理活性物質である/先行類似薬：VEGF 抗体医薬アバスタチン
特許申請状況	物質特許を申請している。(出願番号：○○○○、出願日：○年○月○日、発明の名称：■■■■)
論文発表、学会発表	2016 年●●学会 タイトル, N Engl J Med. 376, 709-13 201X
企業との連携状況	企業との共同研究及び研究費の提供等は受けていない。
公的助成他の有無	平成●年度国立研究開発法人日本医療研究開発機構○○○○○○○事業
実験評価系	あり ・内皮細胞遊走試験 (in vitro) ・管腔形成能試験 (in vitro) など
備考	

参考文献	関連文献を以下に記載し、PDF ファイルで送付してください。
1.	●●●●
2.	■ ■ ■ ■
3.	△△△
Web 会議又は TV 会議 の希望の有無	<p>創薬ナビは直接お会いしてのご相談の他、Web 会議又は TV 会議でも相談が可能です。Web 会議又は TV 会議での面談が可能な方は、チェックをお願いします。面談の方法をご連絡します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Web 会議又は TV 会議での面談を希望する。</p> <p>※面談の方法は AMED よりご連絡いたします。</p>
その他	<p>創薬ナビ（無料相談事業）をどちらでお知りになりましたか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> AMED の Website</p> <p><input type="checkbox"/> AMED のメールマガジン</p> <p><input type="checkbox"/> 学術集会等での案内（例：〇〇学会）</p> <p><input type="checkbox"/> 雑誌（例：実験医学）</p> <p><input type="checkbox"/> 研究者等からの紹介（例：〇〇大学△△教授）</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p>